



出小だより

http://izumo-es.izumozaki.ed.jp/
E-mail izumo-es@izumozaki.ed.j

出雲崎小学校だより No.5
令和2年9月15日

2学期順調にスタートしています

2学期が始まって3週間が過ぎました。今年は例年より2週間短い夏休みでしたが、毎日元気に登校し、楽しそうに学校生活を送っている子供たちを見て、ほっとしています。残念ながらコロナウイルスは未だに収束の気配を見せず、2学期も感染に注意を払った慎重な教育活動が求められます。しかし、ただ守りに徹しているだけでは貴重な教育の機会を逃してしまいます。コロナウイルスとの戦いが長期にわたることを踏まえ、感染に最大限の注意を払いながらも積極的に教育活動を推進していく姿勢で臨みたいと思います。運動会や全校遠足、ふたば祭りなどの学校行事や各学年の体験活動もできる範囲で行っていく予定です。2学期も変わらぬご支援をお願いいたします。

校長 五十嵐 悟

新しい先生です

2学期から、新しく2名の職員が学校に配置となりました。一人目は、米山智博（ちひろ）先生です。1学期の臨時休業措置による学習の遅れに対応するための学習指導員として、月・水・金の3日間の3時間程度、個別学習や少人数学習を行っていただきます。二人目は、金山実香子（みかこ）先生です。コロナウイルス感染症予防のための消毒作業や学校の事務処理等をお手伝いいただきます。よろしくお願いいたします。

なお、笛田悠稀講師が8月末をもって退職し、9月より星清佳教諭が復帰しております。ご承知おきください。



米山先生



金山先生

10月 

- 1日（木）就学時健診
- 7日（水）ふたば遠足 ※9日（金）予備日
- 17日（土）PTA資源物回収
- 30日（金）学習参観 ※6限なし
- ☆ 音楽発表会・絵画展は行いません。3学期にそれに代わる行事を行う予定です。
- ☆ 1学期にお子さんの学習の様子をご覧いただく機会が少なかったため、学習参観を計画しました。近くなりましたらまたご案内いたします。

コロナいじめをしない、させない

動画視聴という形で、子供たちに次の話をしました。

最近、新型コロナウイルス感染症に関して、思わず眉をひそめてしまうような行動が報道されています。例えば、・感染した人の家族や病院に「感染が広がったらお前らのせいだ」という嫌がらせの電話を入れる。・感染症を治すために必死で戦っている病院の人の子供を「ばい菌」扱いする。・仕事でやってきている他の県の車に石を投げるなどです。みなさんは、このことをどう思いますか。

残念ながら、全国の学校でも、感染したお友達をばい菌扱いしたり、感染していないのに感染していると噂を広げたりする「コロナいじめ」が起きています。これは、大変悲しいことですし、出雲崎小学校では絶対起きてほしくありません。

コロナウイルスは、男の子も女の子も、大人も子供も感染します。悪いことをしていたから感染するわけではありません。また、どんなに気を付けていても感染してしまうこともあります。つまり、皆さんの誰もが感染する危険があるのです。

もし、皆さんや皆さんの家族、先生方の中からウイルスに感染した人が出たとしましょう。感染症が治って学校に来たときに、周りにいる人からばい菌呼ばわりされたり、仲間から外されたりしたら、どう思うでしょう。きっと悲しくてつらい気持ちになると思います。

コロナウイルスは、人の体を傷つけます。でも、人の心を傷つけるのは、ウイルスではありません。人なのです。

幸いなことに、出雲崎小学校ではまだコロナに感染した人はいません。でも、いつか感染するお友達もいるかもしれません。そのときに、あなたはその感染したお友達になんと言いますか。どのように接しますか。自分のこととして考えてください。

見附市の市役所の公式Facebookページにこんなタイトルの漫画が出ているそうです。そのタイトルは「安心して感染したい」。コロナになってもならなくても、いつも通り安心して学校に来ることができる、そんな学校にしていきたいと思います。

残念ながら、大人同士の間でもコロナウイルスに感染した人に対して心ない言動が見られ、問題となっています。そのような中、全国の学校にもコロナウイルスに関わるいじめが起きて始めています。お子さんがいじめの被害者にも加害者にもならないために、学校だけでなくご家庭におきても人権に配慮した環境作りが必要です。そのために、ご家庭においては次のことをお願いいたします。

○ **お子さんの不安を受け止め、安心させてください。**

不安感が強くなると、危険を遠ざけようと攻撃的になります。信頼できる確かな情報を与え、安心させてあげてください。

○ **大人発のいじめが起きないように注意してください。**

大人の噂話を鵜呑みにして学校で情報を拡散してしまった事例が報告されています。デマや噂、刺激的な情報等は、お子さんの前では控えてください。

○ **お子さんの変化に注意してください。**

他のいじめと同様、いじめは初期対応が重要です。お子さんの体調や気持ちの変化に気を配り、相談に乗ってあげてください。何かありましたら学校までご連絡ください。

学校と家庭が力を合わせて、コロナウイルスから子供たちの体と心を守っていきましょう。